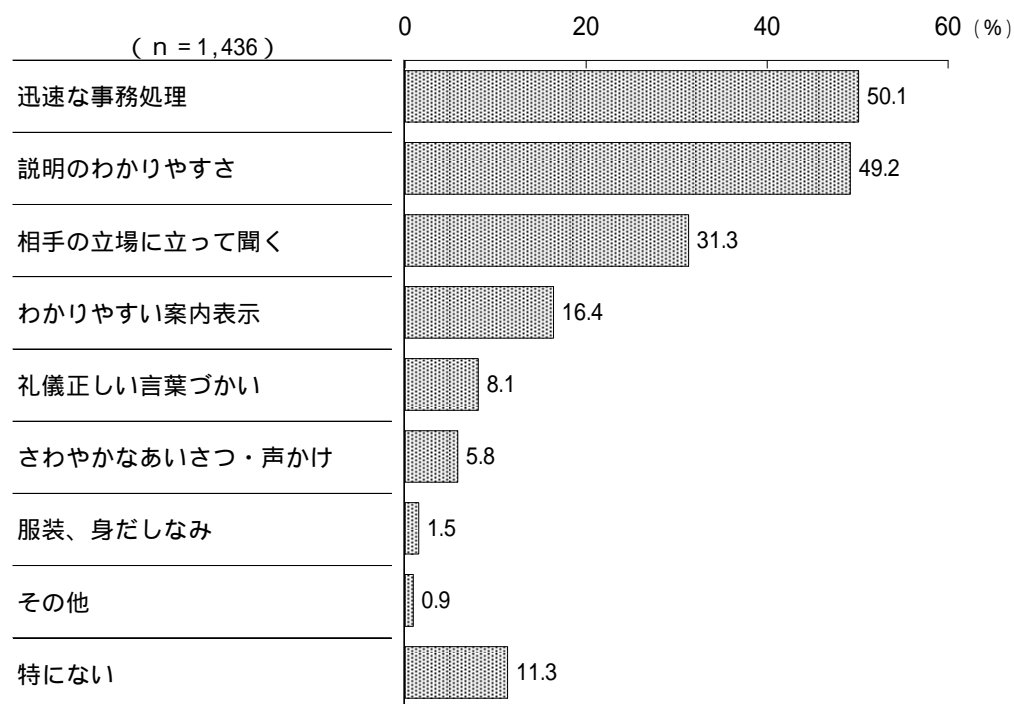


5 . 新しい区政の進め方

(1) 区役所の窓口対応に期待するもの

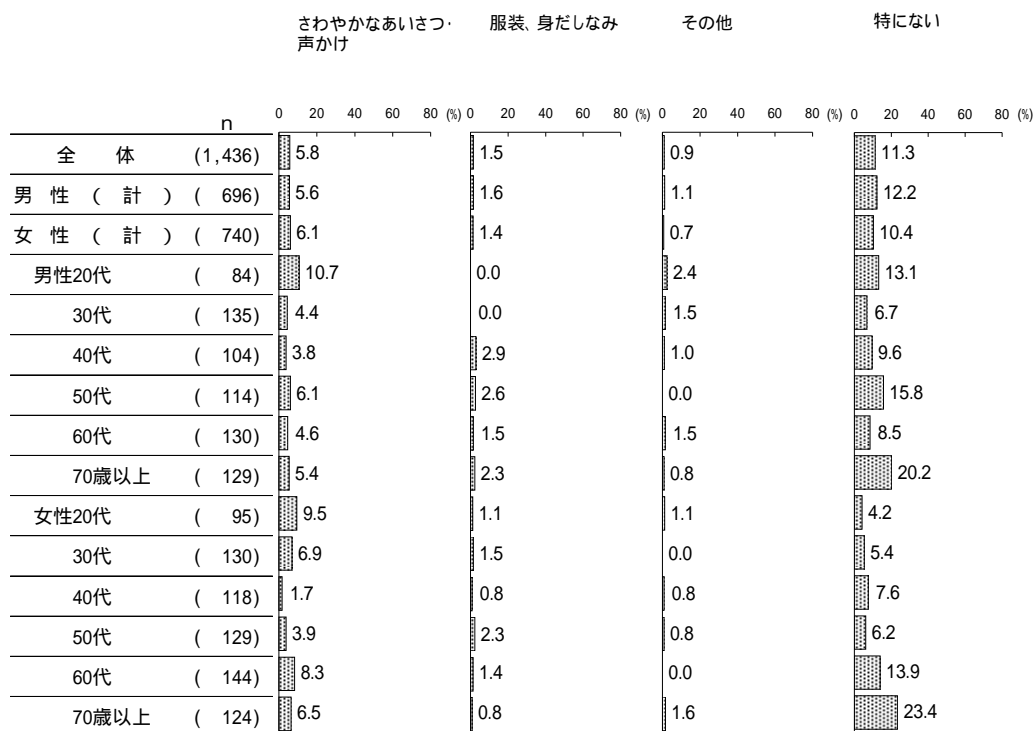
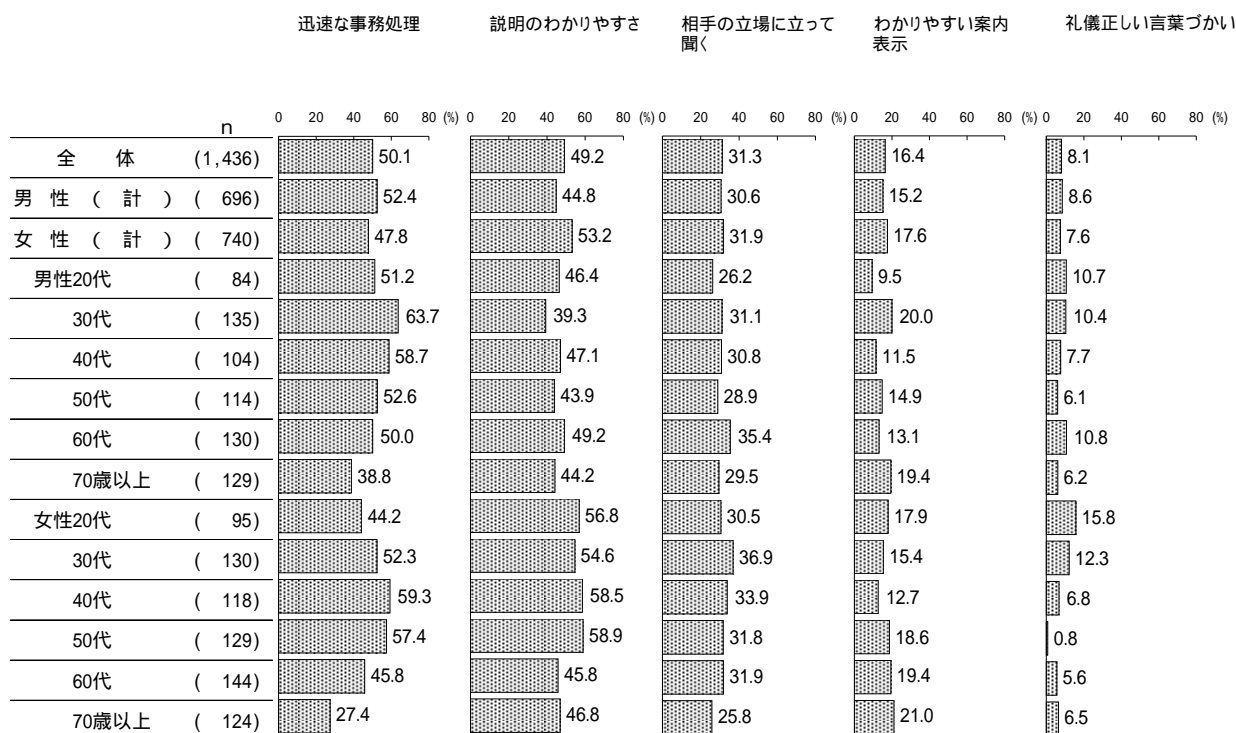
(全員の方に)

問 28 . あなたが大田区の窓口に期待するものはどれですか。(2 つまで)



- ・全体で見ると、「迅速な事務処理」(50.1%) が 5 割と最も高く、次いで「説明のわかりやすさ」(49.2%)、「相手の立場に立って聞く」(31.3%)、「わかりやすい案内表示」(16.4%) などの順となっている。

[区役所の窓口対応に期待するもの - 性 / 年代別]

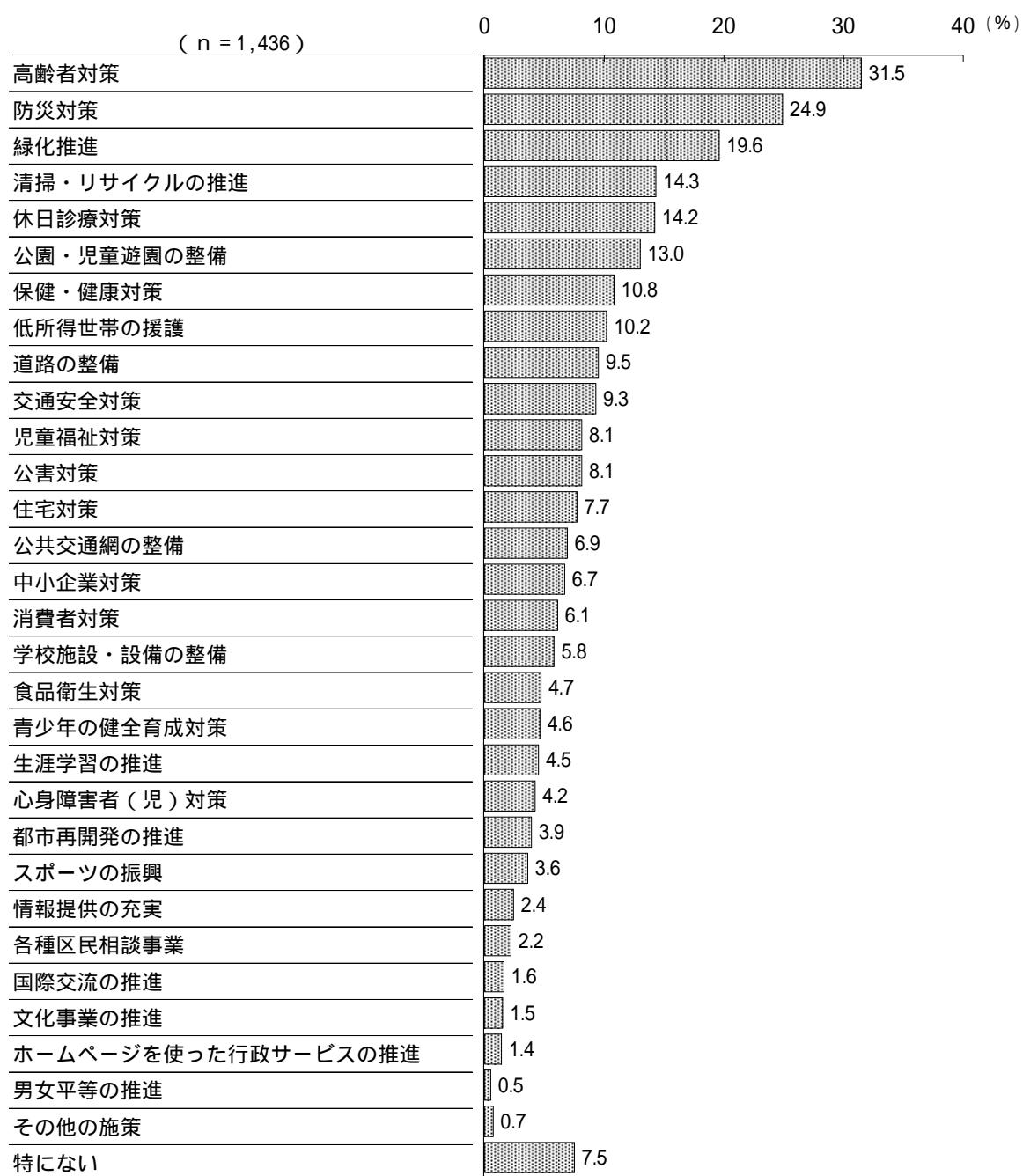


- ・性別にみると、「説明のわかりやすさ」では女性が男性より 8.4 ポイント高くなっている。
- ・性 / 年代別にみると、「迅速な事務処理」では男性 30 代以上で低い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性 30 代では 6 割を超えている。「説明のわかりやすさ」では女性の 20 代から 50 代で 5 割半ばから 6 割近くとなっている。また、「相手の立場に立って聞く」では女性 30 代以上で低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性 30 代では 4 割近くとなっている。

(2) 施策要望

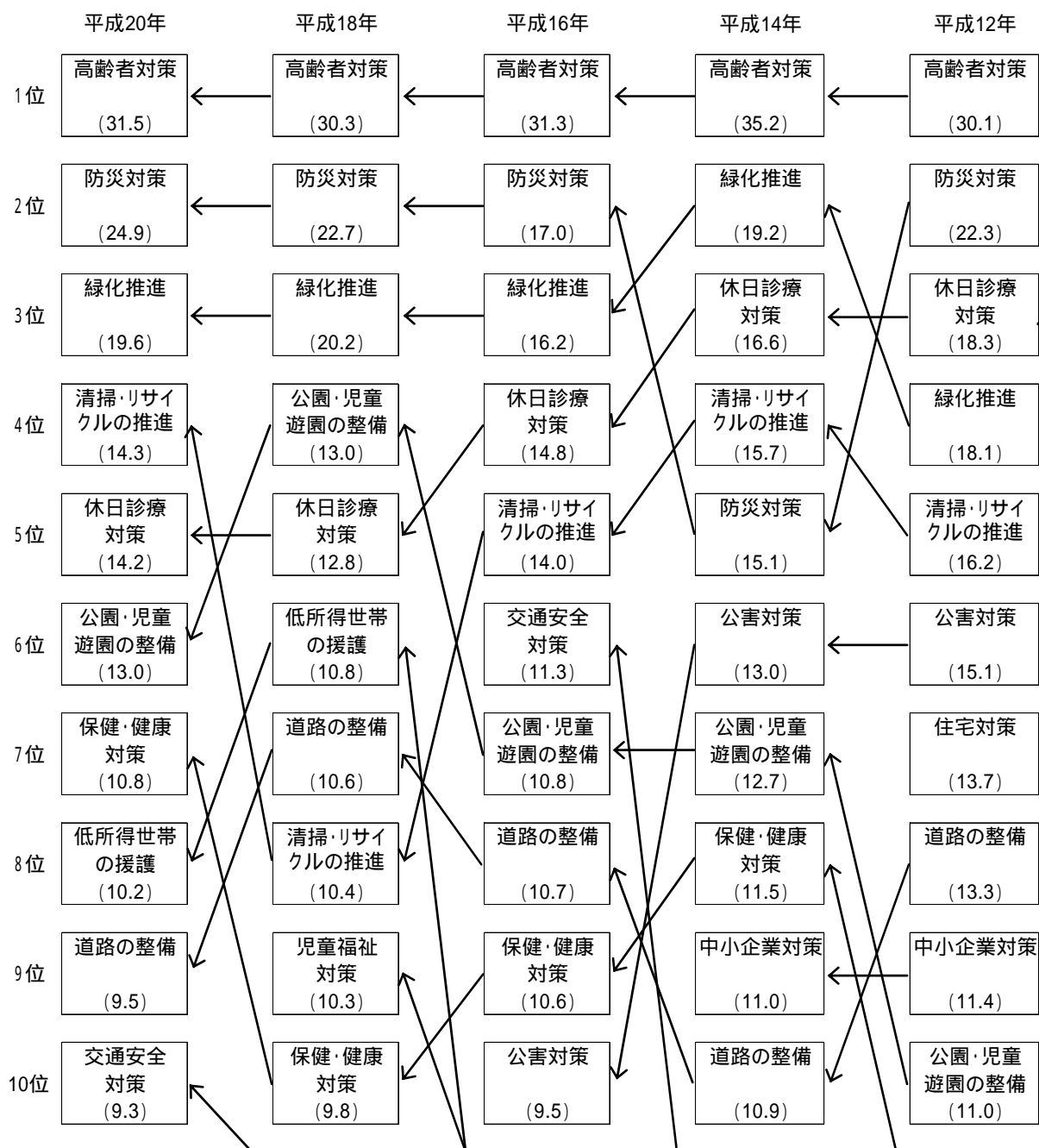
(全員の方に)

問 29. あなたは、大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(3つまで)



- ・全体で見ると、「高齢者対策」(31.5%)が3割を超え最も高く、次いで「防災対策」(24.9%)、「緑化推進」(19.6%)、「清掃・リサイクルの推進」(14.3%)、「休日診療対策」(14.2%)、「公園・児童遊園の整備」(13.0%)、「保健・健康対策」(10.8%)、「低所得世帯の援護」(10.2%)などの順となっている。

[施策要望 - 過年度比較 (上位 10 位)]



- ・ 過去 4 回の調査結果と今回の結果の推移をみると、上位 3 位については平成 16 年以降変動がなく、今回も 1 位が「高齢者対策」、2 位が「防災対策」、3 位が「緑化推進」となっている。前回 4 位の「公園・児童遊園の整備」は、前回と比率に変化はないものの 6 位と順位を下げており、かわって平成 12 年から平成 18 年にかけて比率が減少し前は 8 位であった「清掃・リサイクルの推進」が、今回は前回より 3.9 ポイント増加して 4 位となっている。また、前回 5 位の「休日診療対策」は引き続き今回も 5 位だが、前回より比率は 1.4 ポイント増加している。

[施策要望 - 地域行政センター管内別 (上位5位)]

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,436	高 齢 者 対 策 31.5	防 災 対 策 24.9	緑 化 推 進 19.6	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 14.3	休 日 診 療 対 策 14.2
大田北地域 行政センター	493	高 齢 者 対 策 31.8	防 災 対 策 24.1	緑 化 推 進 18.3	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 13.0	休 日 診 療 対 策 12.6
大田西地域 行政センター	358	高 齢 者 対 策 33.2	防 災 対 策 29.9	緑 化 推 進 22.3	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 15.9	保 健 ・ 健 康 対 策 14.0
大田南地域 行政センター	434	高 齢 者 対 策 29.0	防 災 対 策 24.2	緑 化 推 進 21.0	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 15.4	休 日 診 療 対 策 15.0
大田東地域 行政センター	151	高 齢 者 対 策 33.1	休 日 診 療 対 策 19.2	防 災 対 策 17.9	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 / 低 所 得 世 帯 の 援 護 15.2	

- ・ 地域行政センター管内別に上位5位の施策要望をみると、「高齢者対策」は全ての管内で1位に挙げられている。「防災対策」は大田東地域行政センター管内で3位だが、他の管内ではいずれも2位であり、なかでも大田西地域行政センター管内では3割と他の管内と比べてやや高くなっている。「緑化推進」と「清掃・リサイクルの推進」は大田東地域行政センター管内で5位以内に入っていないが、他の管内ではいずれも3位が「緑化推進」、4位が「清掃・リサイクルの推進」となっている。「休日診療対策」では大田東地域行政センター管内で他の管内と比べてやや高く2位となっており、大田北地域行政センター管内と大田南地域行政センター管内では5位となっている。

[施策要望 - 性 / 年代別 (上位 5 位)]

(%)

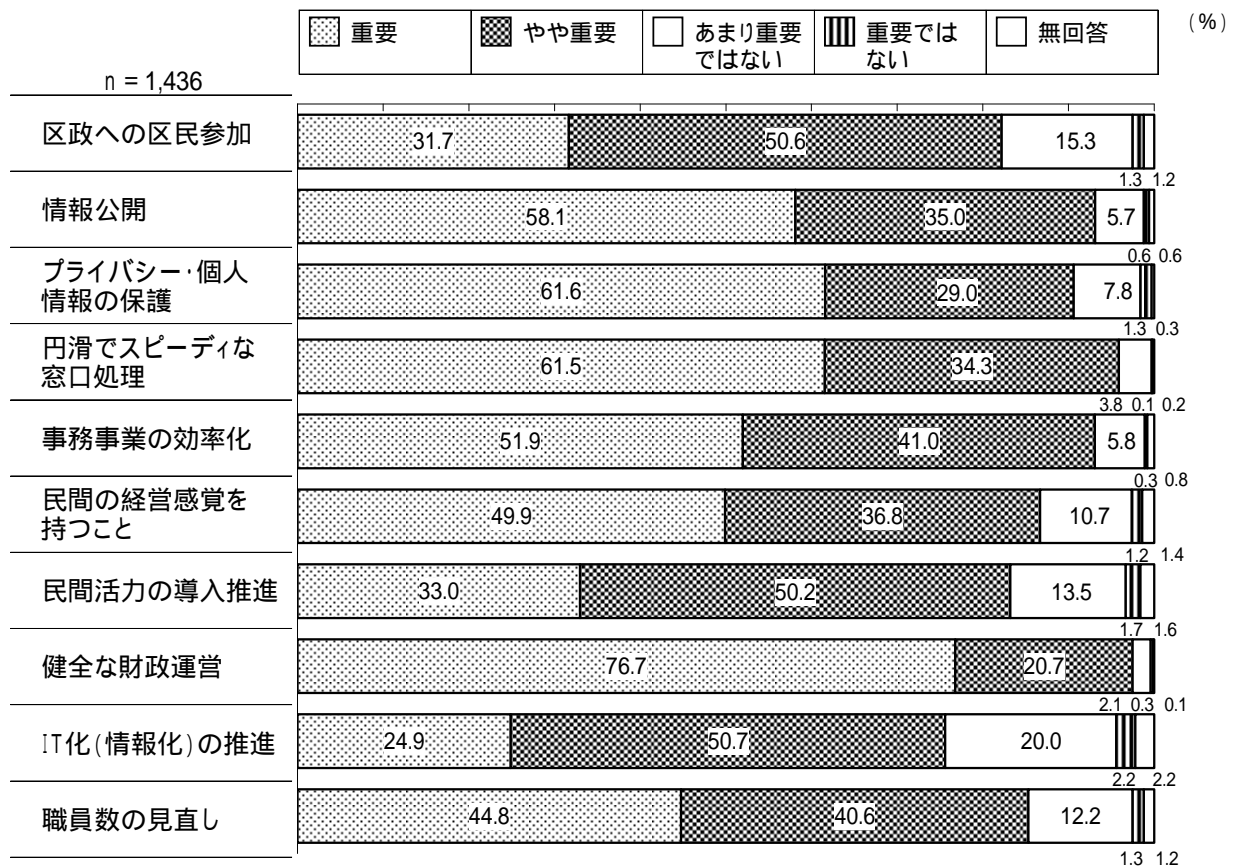
		n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,436	高 齢 者 対 策 31.5	防 災 対 策 24.9	緑 化 推 進 19.6	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 14.3	休 日 診 療 対 策 14.2
男 性 (計)		696	高 齢 者 対 策 29.3	防 災 対 策 22.1	緑 化 推 進 20.1	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 14.9	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 / 休 日 診 療 対 策 13.5
女 性 (計)		740	高 齢 者 対 策 33.5	防 災 対 策 27.6	緑 化 推 進 19.1	休 日 診 療 対 策 14.9	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 13.8
男 性	20 代	84	緑 化 推 進 19.0	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 / ス ポ ー ツ の 振 興 14.3		高 齢 者 対 策 13.1	道 路 の 整 備 / 防 災 対 策 / 低 所 得 世 帯 の 援 護 11.9
	30 代	135	防 災 対 策 20.7	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 / 緑 化 推 進 20.0		休 日 診 療 対 策 17.0	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 14.8
	40 代	104	緑 化 推 進 28.8	防 災 対 策 24.0	高 齢 者 対 策 18.3	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 17.3	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 / 休 日 診 療 対 策 16.3
	50 代	114	高 齢 者 対 策 30.7	防 災 対 策 29.8	緑 化 推 進 23.7	休 日 診 療 対 策 14.9	低 所 得 世 帯 の 援 護 14.0
	60 代	130	高 齢 者 対 策 40.0	防 災 対 策 24.6	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 / 緑 化 推 進 17.7		清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 16.9
	70 歳 以 上	129	高 齢 者 対 策 52.7	防 災 対 策 19.4	道 路 の 整 備 15.5	交 通 安 全 対 策 / 保 健 ・ 健 康 対 策 14.0	
女 性	20 代	95	緑 化 推 進 26.3	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 / 防 災 対 策 21.1		休 日 診 療 対 策 17.9	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 16.8
	30 代	130	高 齢 者 対 策 26.9	防 災 対 策 25.4	休 日 診 療 対 策 20.8	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 19.2	児 童 福 祉 対 策 17.7
	40 代	118	防 災 対 策 28.8	高 齢 者 対 策 21.2	公 園 ・ 児 童 遊 園 の 整 備 17.8	緑 化 推 進 16.1	学 校 施 設 ・ 設 備 の 整 備 15.3
	50 代	129	高 齢 者 対 策 38.0	防 災 対 策 35.7	緑 化 推 進 24.8	休 日 診 療 対 策 13.2	住 宅 対 策 12.4
	60 代	144	高 齢 者 対 策 43.1	防 災 対 策 25.0	緑 化 推 進 19.4	清 掃 ・ リ サ イ ク ル の 推 進 16.7	保 健 ・ 健 康 対 策 / 低 所 得 世 帯 の 援 護 11.8
	70 歳 以 上	124	高 齢 者 対 策 50.8	防 災 対 策 28.2	緑 化 推 進 16.1	道 路 の 整 備 15.3	休 日 診 療 対 策 12.9

- ・ 性別に上位 5 位の施策要望をみると、男女とも 1 位が「高齢者対策」、2 位が「防災対策」、3 位が「緑化推進」で、「清掃・リサイクル」は男性で 4 位、女性で 5 位となっている。
- ・ 性 / 年代別に上位 5 位の施策要望をみると、全体で 1 位の「高齢者対策」は女性 30 代と男女それぞれ 50 代以上で 1 位、全体で 2 位の「防災対策」は男性 30 代と女性 40 代で 1 位、男性 40 代以上、女性 30 代、女性 50 代以上で 2 位となっている。また、全体で 3 位の「緑化推進」は男女それぞれ 20 代と男性 40 代で 1 位となっている。

(3) 新しい区政の進め方に対する意識

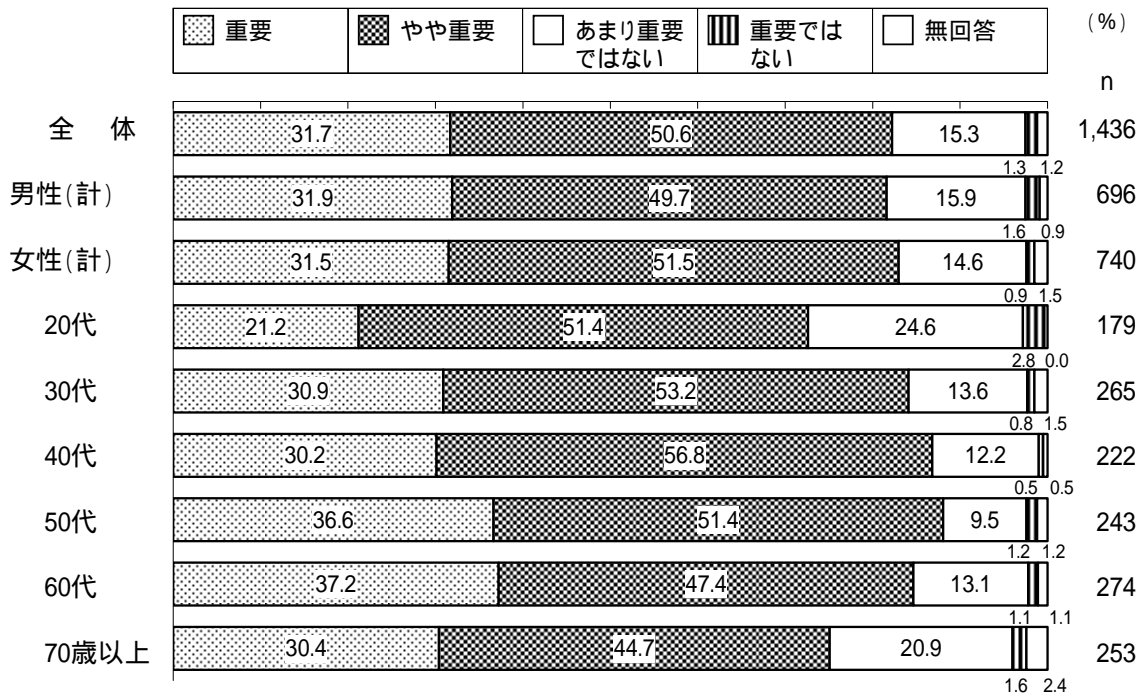
(全員の方向)

問30. これからの区政の進め方についてお聞きします。 ~ のそれぞれについて、最も近い意見を1つお答えください。(各々1つ)



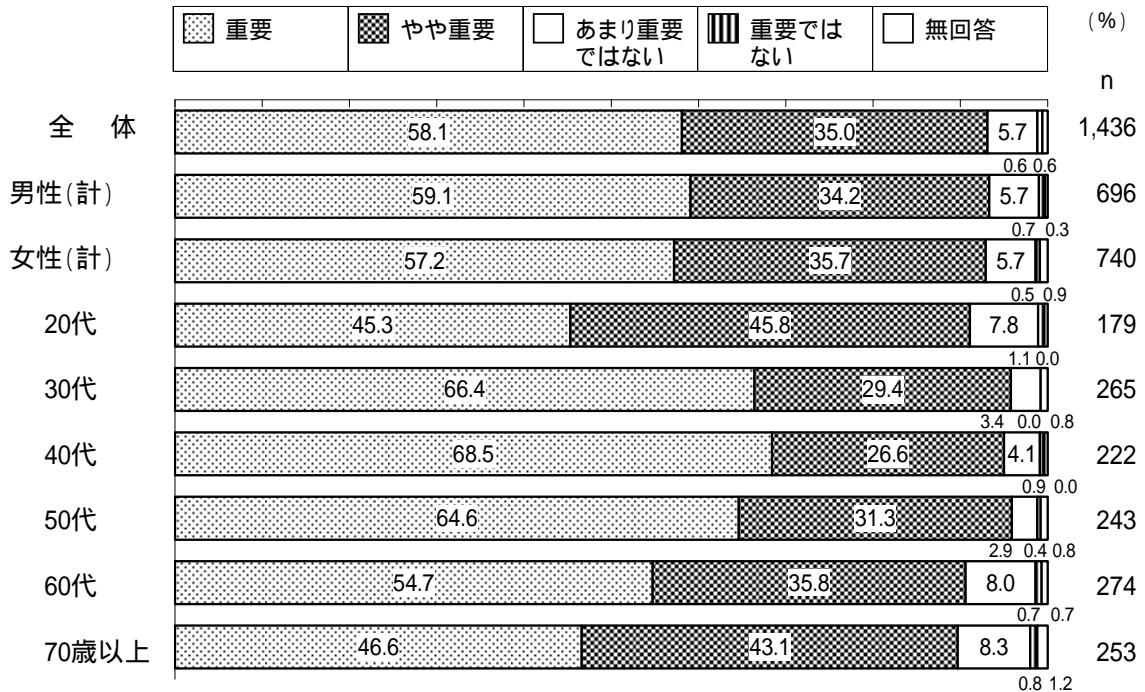
・全体で見ると、「重要」と答えた人の割合が最も高いのは<健全な財政運営>(76.7%)で8割近くとなっている。次いで<プライバシー・個人情報の保護>(61.6%)、<円滑でスピーディな窓口処理>(61.5%)、<情報公開>(58.1%)などの順となっている。「重要」と「やや重要」を合わせた『重要(計)』では<IT化(情報化)の推進>(75.6%)以外の項目でいずれも8割を超えている。また、「あまり重要ではない」では<IT化(情報化)の推進>(20.0%)が2割と他の項目と比べて高くなっている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 区政への区民参加 > - 性別 / 年代別]



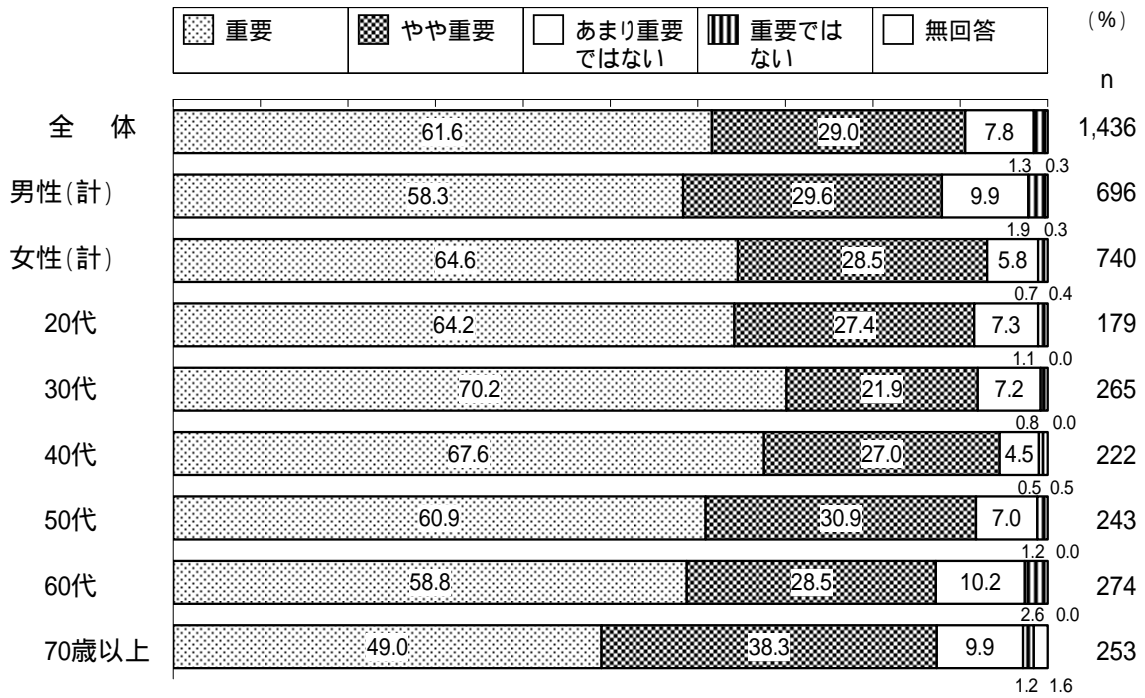
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「重要」では30代以上で3割を超えている。また、「あまり重要ではない」では20代で2割半ばと他の年代と比べて高くなっている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 情報公開 > - 性別 / 年代別]



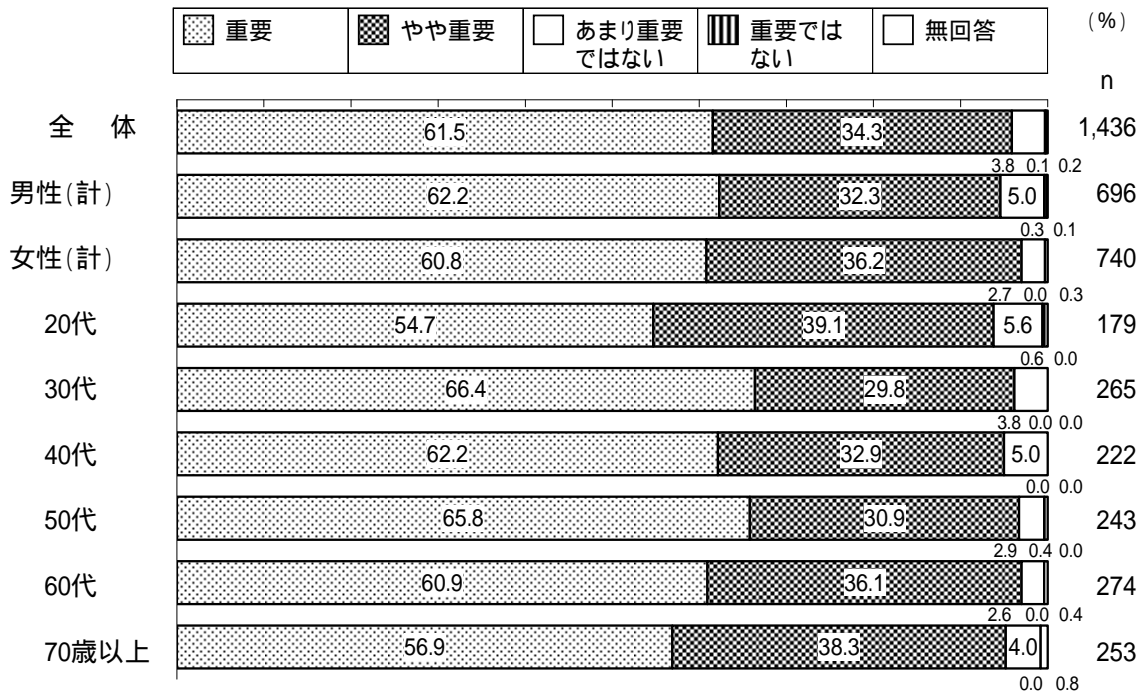
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「重要」では30代から50代で6割半ばから7割近くと高くなっている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < プライバシー・個人情報の保護 > - 性別 / 年代別]



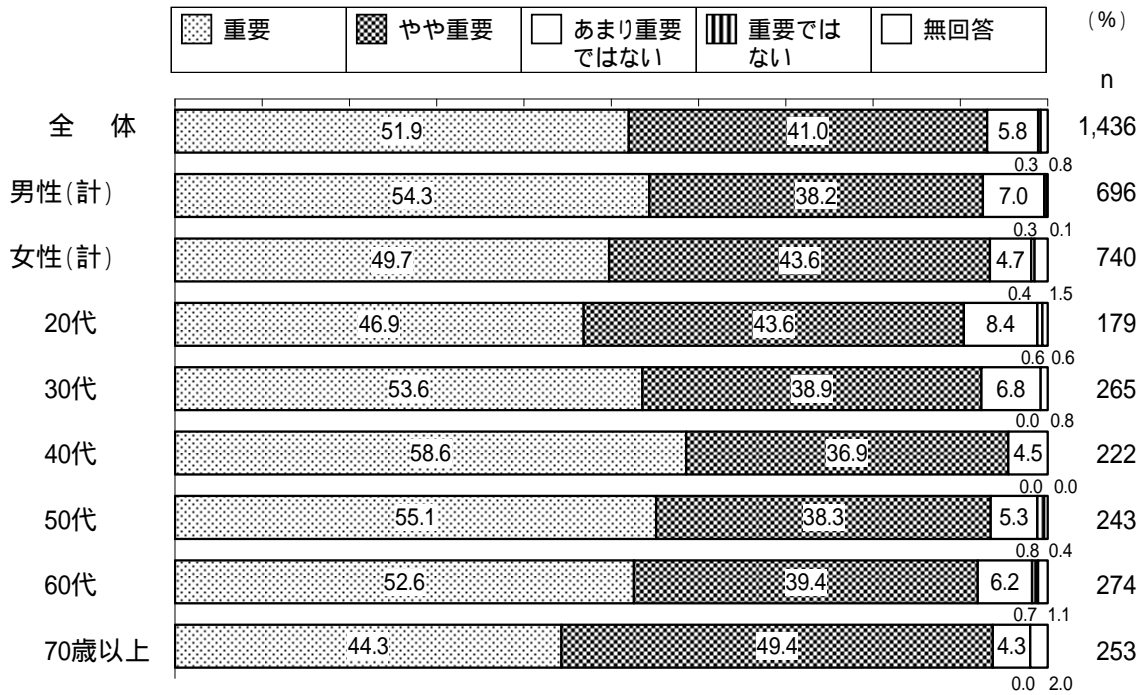
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「重要」では30代以上で低い年代ほど割合が高い傾向にあり、30代では7割となっている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 円滑でスピーディな窓口処理 > - 性別 / 年代別]



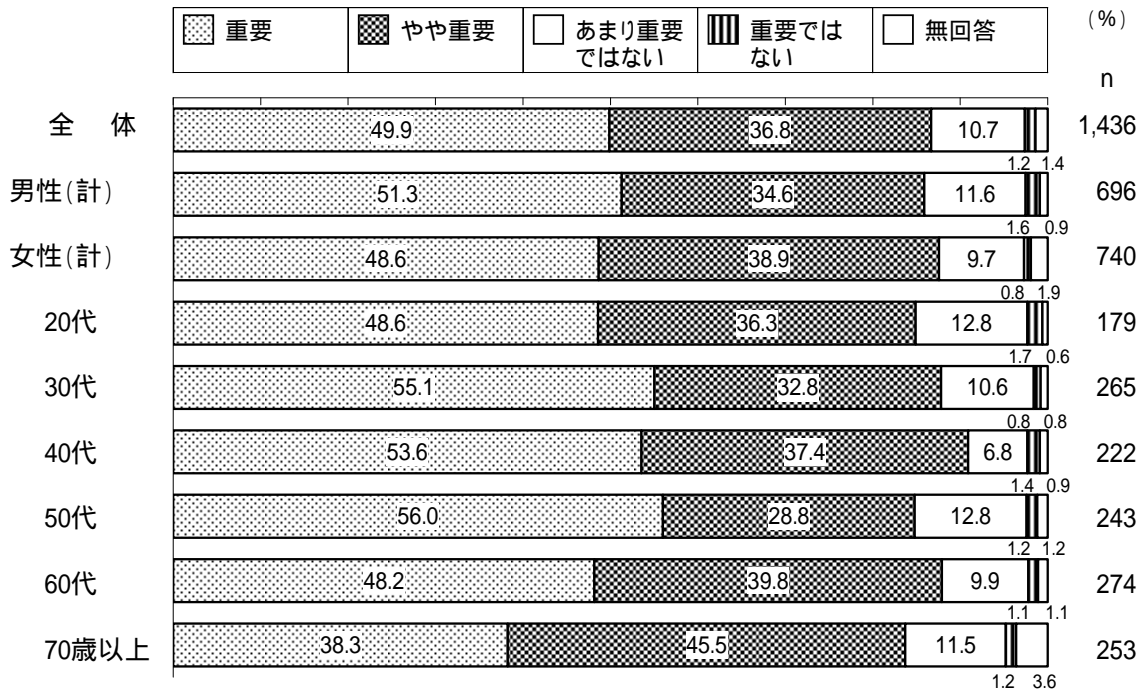
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、いずれの年代においても『重要(計)』が9割を超えている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 事務事業の効率化 > - 性別 / 年代別]



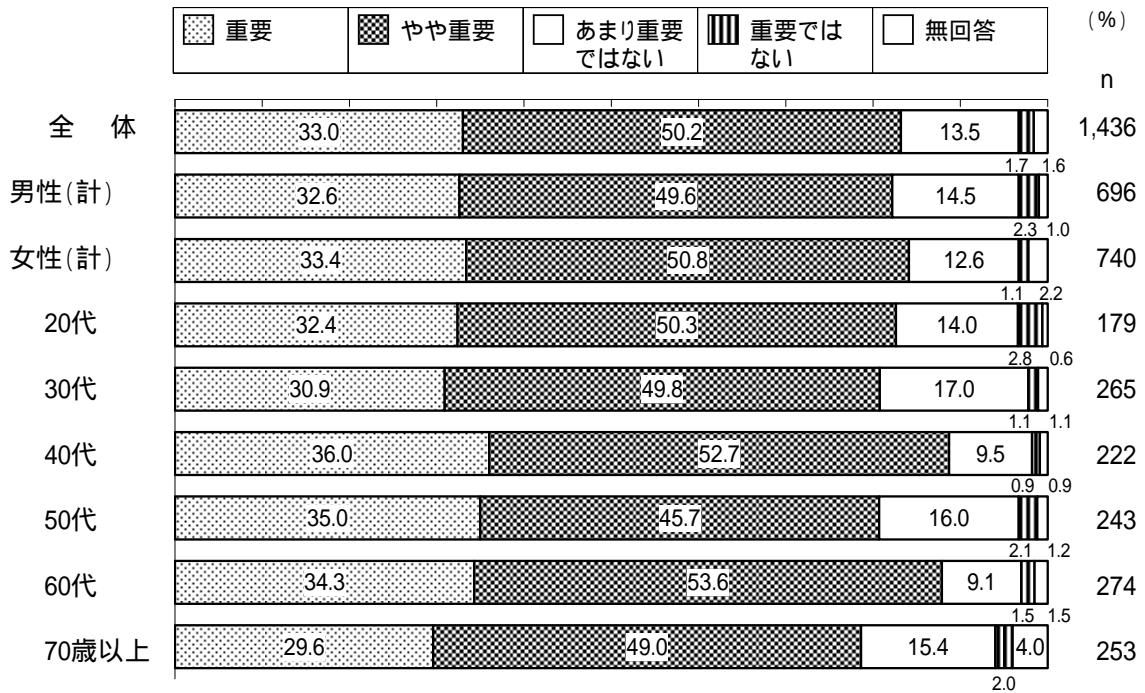
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、いずれの年代においても『重要(計)』が9割を超えている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 民間の経営感覚を持つこと > - 性別 / 年代別]



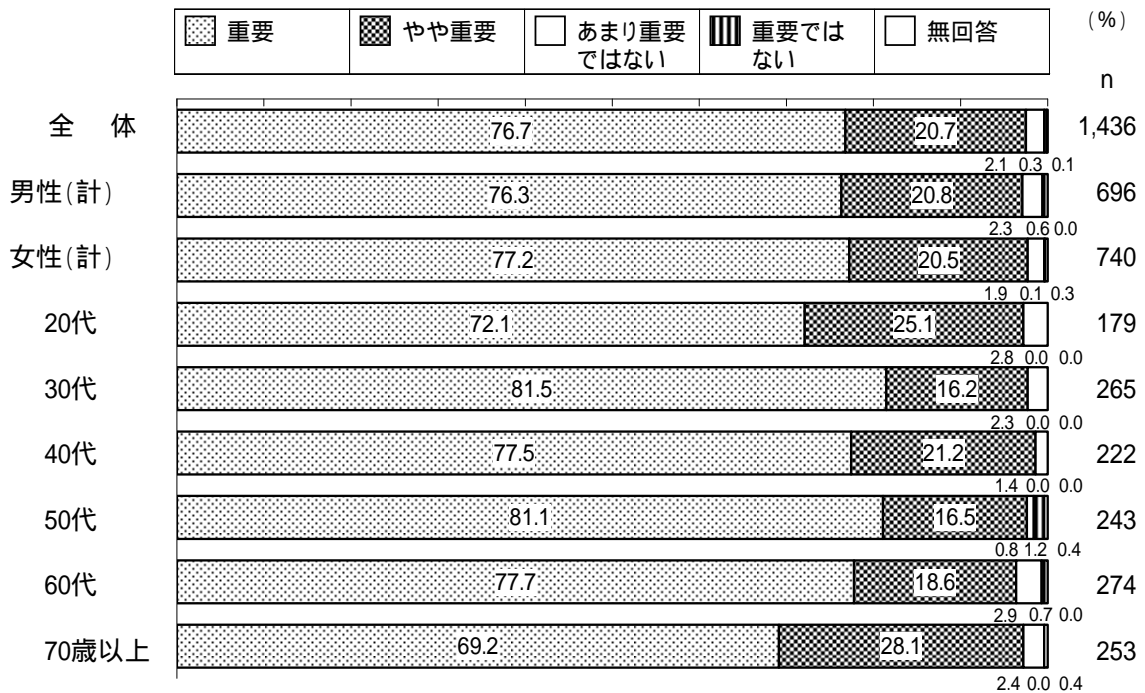
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「重要」では30代から50代で5割を超えている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 民間活力の導入推進 > - 性別 / 年代別]



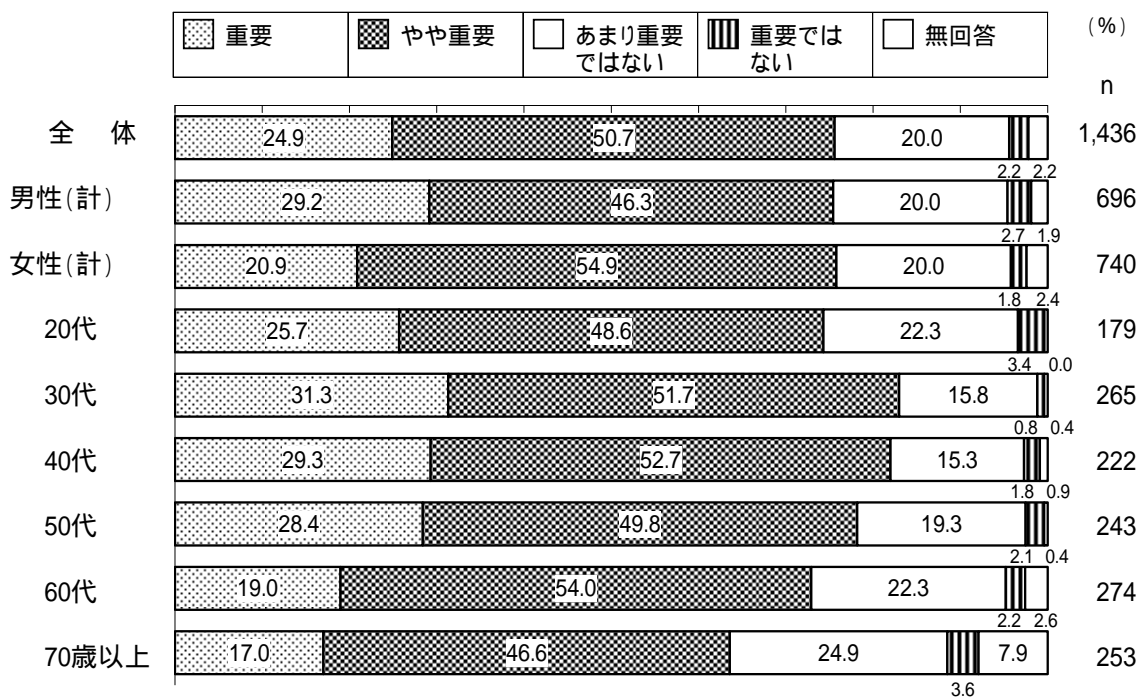
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、『重要(計)』では40代と60代で9割近くとなっている。

[新しい区政の進め方に対する意識 < 健全な財政運営 > - 性別 / 年代別]



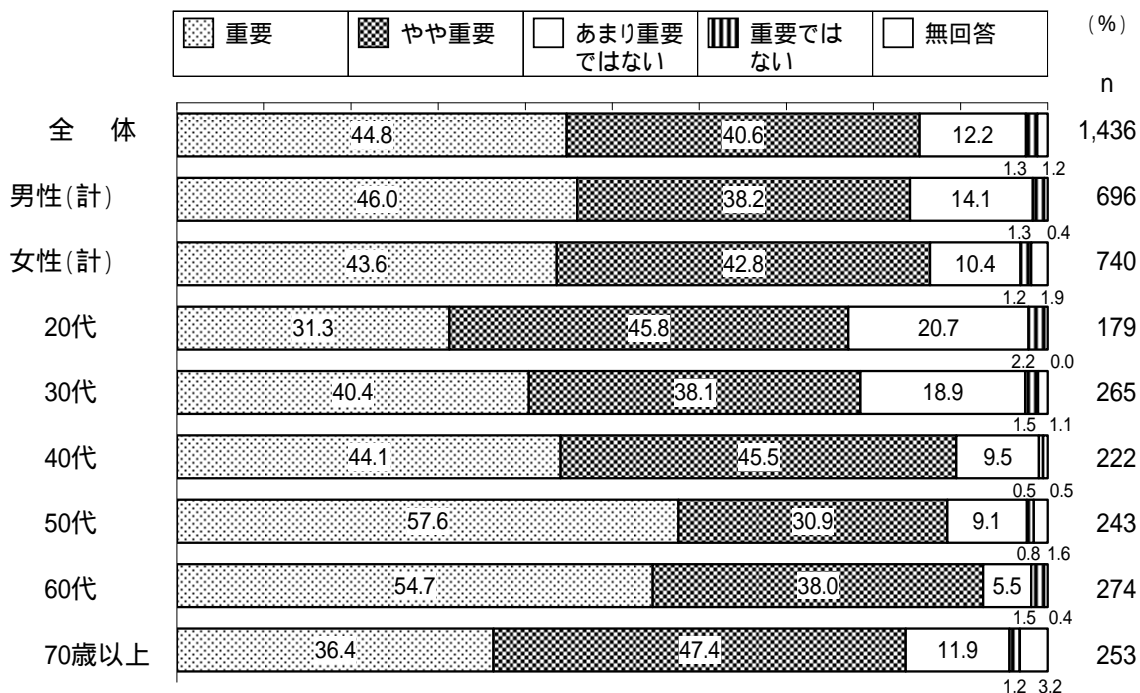
- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、いずれの年代においても『重要(計)』が10割近くとなっている。

[新しい区政の進め方に対する意識< IT化(情報化)の推進> - 性別/年代別]



- ・性別にみると、「やや重要」では女性が男性より8.6ポイント高く、「重要」では男性が女性より8.3ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、『重要(計)』では30代と40代で8割を超えている。

[新しい区政の進め方に対する意識< 職員数の見直し> - 性別/年代別]

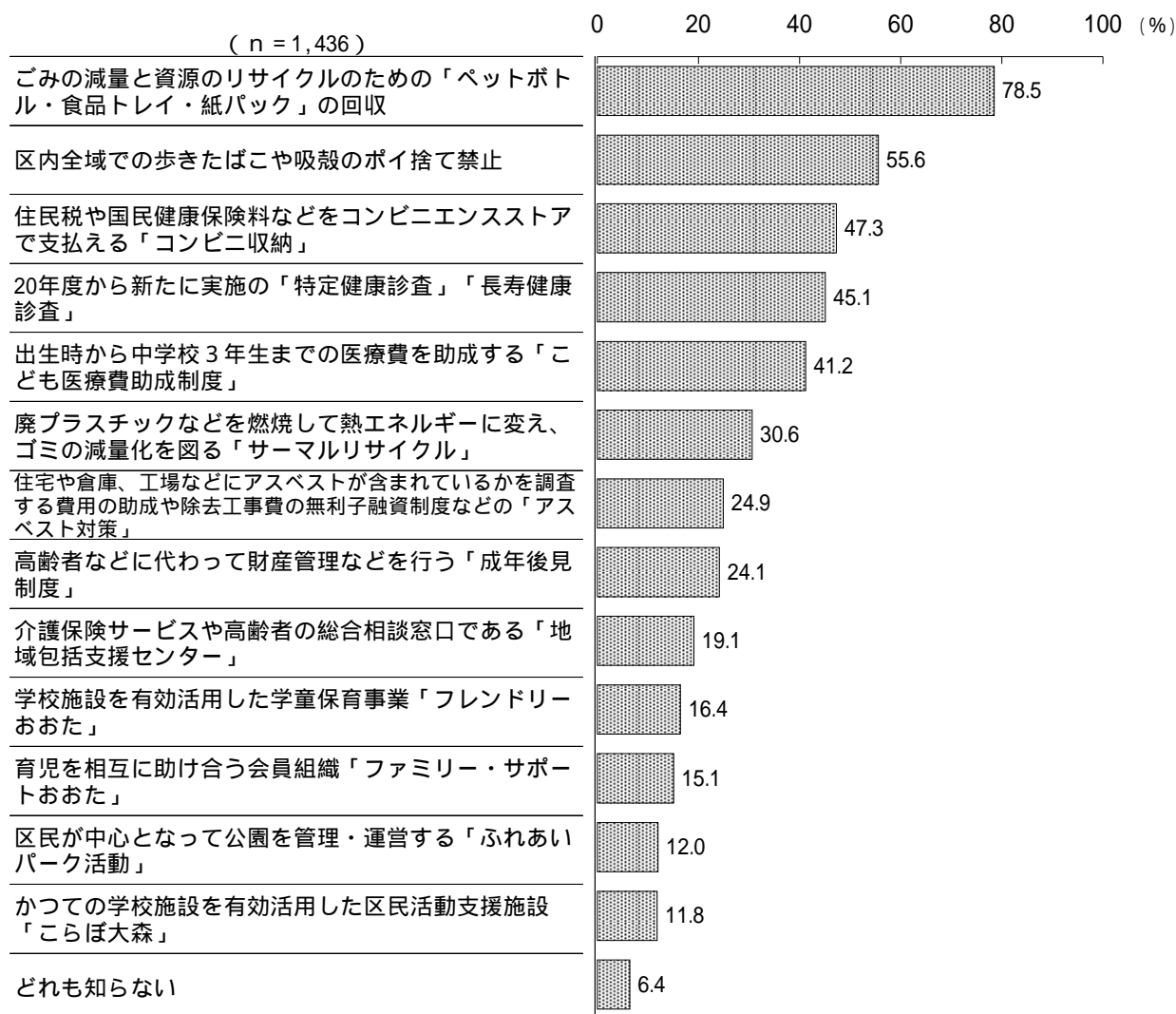


- ・性別にみると、男女間で大きな差はみられない。
- ・年代別にみると、「重要」では50代と60代で5割半ばから6割近くと高く、「あまり重要ではない」では20代と30代で2割前後と他の年代と比べて高くなっている。

(4) 区の制度・施策・施設の周知度

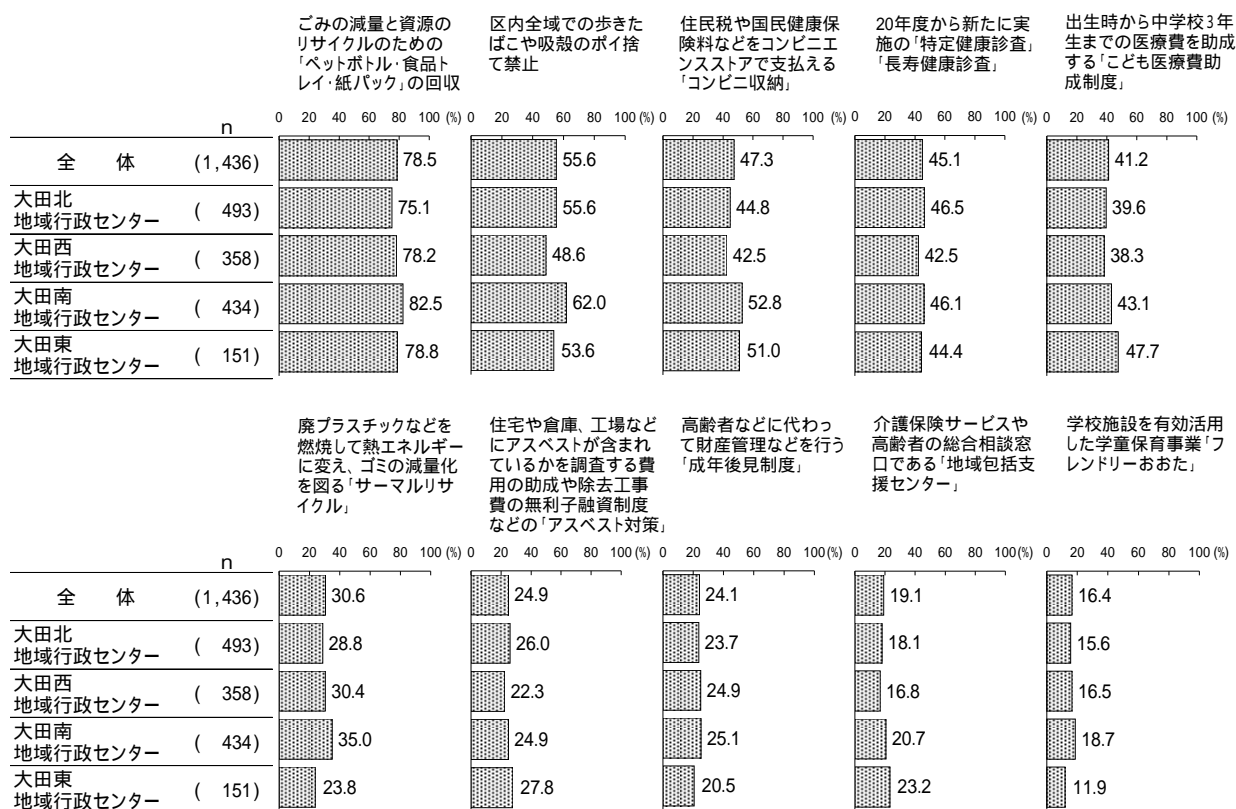
(全員の方向に)

問31. ここであげられている、区の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知なものをすべて挙げてください。(いくつでも)



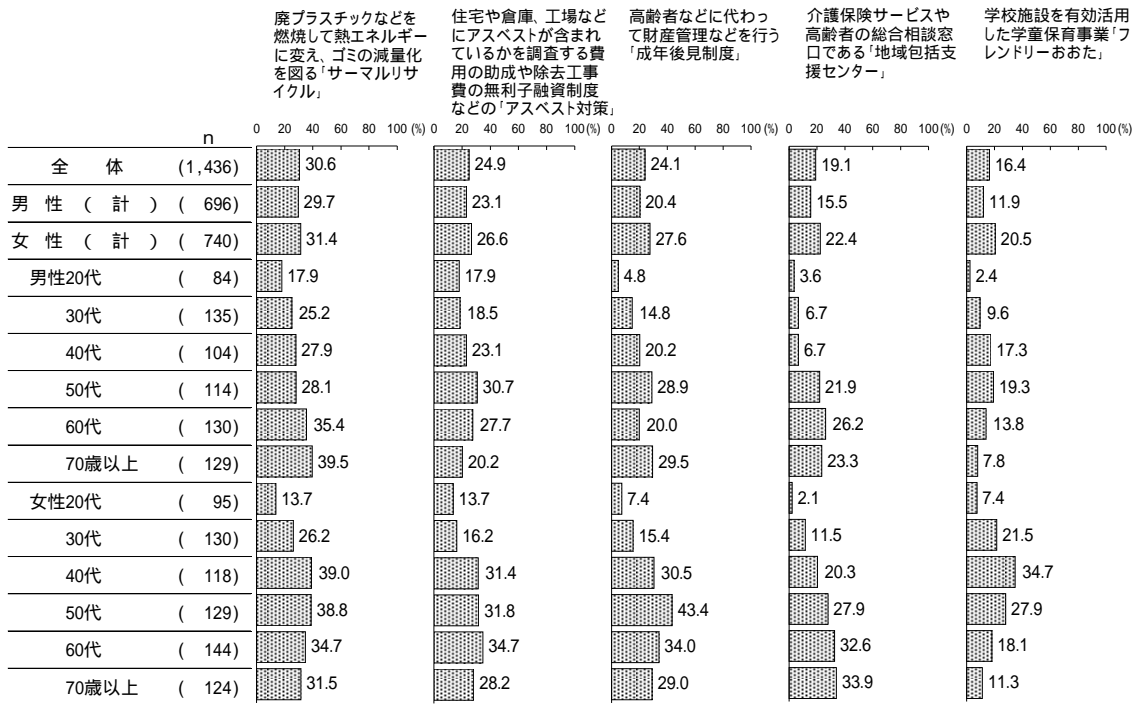
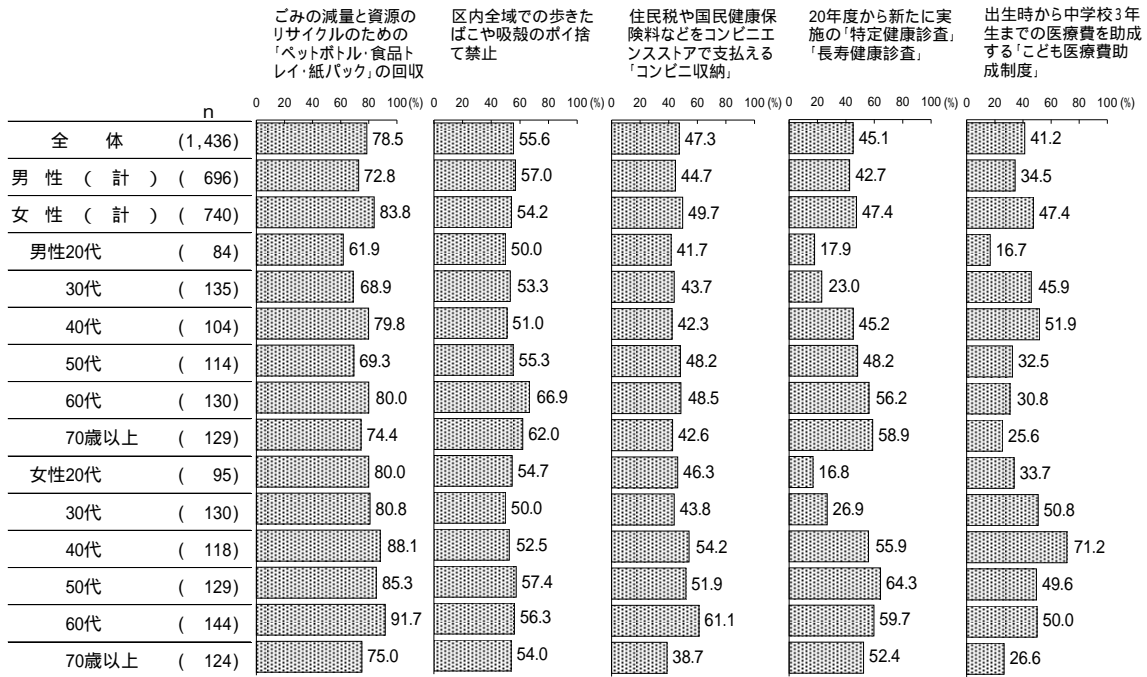
・全体で見ると、「ごみの減量と資源のリサイクルのための『ペットボトル・食品トレイ・紙パック』の回収」(78.5%)が8割近くと最も高く、次いで「区内全域での歩きタバコや吸殻のポイ捨て禁止」(55.6%)、「住民税や国民健康保険料などをコンビニエンスストアで支払える『コンビニ収納』」(47.3%)、「20年度から新たに実施の『特定健康診査』『長寿健康診査』」(45.1%)、「出生時から中学校3年生までの医療費を助成する『こども医療費助成制度』」(41.2%)などの順となっている。

[区の制度・施策・施設の周知度 - 地域行政センター管内別 (上位 10 項目)]



・地域行政センター管内別にみると、「ごみの減量と資源のリサイクルのための『ペットボトル・食品トレイ・紙パック』の回収」では大田南地域行政センター管内で8割を超えている。「区内全域での歩きたばこや吸殻のポイ捨て禁止」でも大田南地域行政センター管内で6割を超え他の管内と比べて高くなっている。

[区の制度・施策・施設の周知度 - 性 / 年代別 (上位 10 項目)]



- ・性別にみると、女性が男性より「出生時から中学校3年生までの医療費を助成する『子ども医療費助成制度』」で12.9ポイント、「ごみの減量と資源のリサイクルのための『ペットボトル・食品トレイ・紙パック』の回収」で11.0ポイント、「学校施設を有効活用した学童保育事業『フレンドリーおおた』」で8.6ポイント高くなっている。
- ・性 / 年代別にみると、「ごみの減量と資源のリサイクルのための『ペットボトル・食品トレイ・紙パック』の回収」では女性60代で9割を超え、「区内全域での歩きたばこや吸殻のポイ捨て禁止」では男性60代で7割近く、「住民税や国民健康保険料などをコンビニエンスストアで支払える『コンビニ収納』」では女性60代で6割を超え高くなっている。「20年度から新たに実施の『特定健康診査』『長寿健康診査』」では女性の50代と60代でほぼ6割から6割半ばと高く、男性では高い年代ほど割合が高い傾向にある。また、「出生時から中学校3年生までの医療費を助成する『子ども医療費助成制度』」では女性40代で7割を超え高くなっている。